貸　借　対　照　表

（令和７年３月31日現在）

（単位：円）

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
（流動資産）	**149,591,681**	**（流動負債）**	**236,439,633**
現金・預金	149,583,829	短期借入金	220,000,000
未収金	7,852	未払金	10,469,299
（固定資産）	**36,755,406**	賞与引当金	5,970,334
有形固定資産	6,407,975	**（固定負債）**	
建物	5,906,666	退職給与引当金	14,364,381
工具・器具・備品	501,309	**（負債合計）**	**250,804,014**
無形固定資産	30,347,431	**（欠損金）**	
ソフトウェア	29,244,142	繰越欠損金	△ 64,456,927
ソフトウェア仮勘定	1,103,289	**（純資産合計）**	**△ 64,456,927**
資産合計	**186,347,087**	**負債・純資産合計**	**186,347,087**

損　益　計　算　書

（自令和６年４月１日　至令和７年３月31日）

（単位：円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
（経常費用）	**813,295,205**	**（経常収益）**	**829,999,566**
被害回復分配金支払業務費	670,060,385	手数料収入	154,366,784
犯罪被害者等支援費	670,000,000	被害回復分配金残余納付金	675,626,750
消滅預金等債権者補償費	60,385	事業外収益	6,032
一般管理費	142,385,041		
事業外費用	849,779		
借入金利息	849,757		
雑損	22		
（当期利益金）	**16,704,361**		
合計	**829,999,566**	**合計**	**829,999,566**

㈱　当期利益金16,704,361円は、犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律第五章に規定する預金保険機構の業務の特例等に関する命令（平成20年内閣府令・財務省令第１号）第３条第１項の規定により、繰越欠損金から減額して整理する。

○重要な会計方針等

１．固定資産の減価償却方法

⑴　有形固定資産

定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は次のとおりである。

建物　　８年～18年

その他　２年～20年

これによる減価償却累計額は1,600,320円である。

⑵　無形固定資産

当機構利用のソフトウェアについては、機構内における利用可能期間（５年以内）に基づく定額法を採用している。

２．引当金の計上基準

⑴　賞与引当金

役職員に対する賞与の支給に充てるため、翌事業年度の賞与支給見込額のうち当事業年度の負担となる額を計上している。

⑵　退職給与引当金

役職員の退職金の支給に備えるため、期末要支給額を基準として計上している。

３．その他財務諸表作成のための重要な事項

⑴　消費税等の会計処理方法

税込方式によっている。

⑵　その他

犯罪利用預金口座等に係る資金による被害回復分配金の支払等に関する法律（平成19年法律第133号）第30条第１項の規定により、当事業年度に生じた費用に見合う金額を翌事業年度の手数料収入として見込んでいる。

地域経済活性化支援勘定

財　産　目　録

（令和７年３月31日現在）

（単位：円）

資産の部		
区分	摘要	金額
（流動資産）		**10,193,499**
現金・預金		
当座預金		10,192,968
未収金	一般管理費	531
（固定資産）		**15,704,092,797**
地域経済活性化支援機構株式		15,703,800,000
無形固定資産		292,797
ソフトウェア	財務部事務システム等	218,251
ソフトウェア仮勘定	文書決裁管理システム等	74,546
資産合計		**15,714,286,296**